



2013年 10月2日 水曜日
(平成25年)

海外訪問で百条委

飯能市長の答弁調査へ

飯能市議会は9月定例会最終日の1日、大久保勝市長への緊急質問の答弁内容について調査する「海外プレゼン等に関する地方自治法100条委」による調査特別委員会を設置した。

問題になったのは9月定例会の9月9日、保守系の鳥居誠明市議が行った緊急質問に対する市長答弁。鳥居氏は「8月24、25日、インドネシアの首都ジャカルタで行われた日本への観光客誘致のためのプレゼンテーション(観光庁など主催のジャパン・トラベル

・エキスポ)に
A、B 両市議と市政企画課シテイプロモーション政策顧問のC市非常勤特別職、市内工事請負業者が出席した」と説明。「A、B 両市議が飯能市の観光についてPRし、C氏も現地の新聞にコメントを載せている」と述べた。その上で「(両市議のインドネシア行きは)市議会に知らされていない。公務なのか、それとも私的な参加なのか」と質問した。大久保市長は「個人的に私費で行ったので、内容は知らない」と答弁していた。これに対し議会側は「9月19日の代表者会議、27日の議員への説明会における一般職員とC氏の発言が市長答弁と食い違っている」と主張。大久保市長の答弁が虚偽なのか百条委で真相を明らかにしたい、としている。大久保市長は百条委設置について「百条委は極めて重大なことで受け止めている。今後の推移を見守りたい」と思う」とコメントした。同市での百条委設置は19

88年以来。百条委のメンバーは加瀬弘貴市議を委員長に保守系6人、公明、共産各1人の8人で構成されている。(広川一六)

(注記) 鳥居誠明は、この件について、10月3日午前3時まで議員2名の名前を挙げた発言はしていません。また、埼玉新聞社をはじめとする新聞各社及びその他のマスコミから10月3日午前3時に至るまで一切の取材も受けておりませんのでA氏、B氏の名前は鳥居からの情報ではございません。よって、個人の名前は、A、B、Cと伏せてコピーさせて頂きました。(C氏の名は8月26日の「じゃかるた新聞」Web版で既報。平成25年10月3日午前3時10分 鳥居誠明)

2013年 10月5日 土曜日 埼玉新聞のお詫びと訂正の記事です

「お詫びと訂正」2日付17面の「飯能市議会の海外訪問で百条委」の記事で、鳥居誠明市議の緊急質問で、2人の市議の名前は発言していませんでした。関係者にお詫びして訂正します。

歩道

◇…台風18号の大雨被害から復旧した姿をアピールしようと、京都市の門川大作市長と京都五花街の舞妓(まいこ)5人が4日、JR東京駅前で行人らにチラシを配って観光に来てほしいと呼び掛けた写真。

◇…門川市長はあいさつで「京都市は懸命な努力で元気になった。全国から支援をいただいたので、十倍返しておもてなしたい」と、人気ドラマのせりふをもじって笑わせ

た。◇…舞妓5人はそれぞれ紫や黄緑のあでやかな着物を着た。京都先斗町の千鶴さんは「みんなお稽古を頑張っているの」で「秋のをどり」を見に来てほしい」と古都の秋を彩る舞台をPRした。

